

「地域課題調査研究報告会」

— 原子力災害による風評被害の現状と払拭の取組み —

- ◆ いまだ続く原子力災害による風評被害の現状について、流通業者インタビューやアンケート等により徹底分析。
- ◆ 風評払拭のボトルネックを明らかにするとともに、風評を払拭するための具体的な方策を提言。



参加無料

■日時 : 7月6日(月) 13:00~15:45

■場所 : 福島県農業総合センター 多目的ホール

〒963-0531 郡山市日和田町高倉字下中道 116 番地 TEL 024-958-1700

13:00~13:10 開会、あいさつ

13:10~13:40 風評被害の構造と5年目の対策

東京大学大学院 特任准教授 関谷 直也

風評研究の第一人者が、「風評被害」とは何かについて詳しく解説します。また、いまだ続く風評を払拭するための具体的なポイントを紹介します。



13:40~14:10 原子力災害後の農産物地場流通の構造と食と農の再生

福島大学 特任准教授 則藤 孝志

地域経済を作り出している「流通」の視点から風評問題をとらえ、地方卸売市場や学校給食の現場に潜む課題を浮き彫りにします。



14:10~14:20 休憩

14:20~14:50 消費者は今、どう考えているか -消費者調査分析-

福島大学 准教授 中村 陽人

全国消費者アンケート調査の結果から見えてきた福島の「風評」の現状を分析し、今後の対処法についてのヒントを提示します。



14:50~15:20 原子力災害による風評払拭のための提言

福島大学 教授 小山 良太

ボトルネックは何か、再生の方策は一。原子力災害以降、ふくしまの食と農の復興・再生を追及してきた研究者がたどり着いた到達点を解説します。



15:20~15:45 質疑応答

■申込方法・締切 : 裏面の「申込書」に必要事項を記入の上、FAX、郵便、E-mail 等で7月2日(木)までに超学際的研究機構へお申込みください。

【主催】: 福島県、特定非営利活動法人 超学際的研究機構

【後援】: 郡山市

「地域課題調査研究報告会」申込書

平成27年 月 日

| | |
|------|-----|
| 所属 | |
| 氏名 | |
| | |
| | |
| 電話番号 | — — |

※いただいた個人情報は本報告会の開催に用い、他用途には転用しません。

■日時： 7月6日(月) 13:00~15:45

■場所： 福島県農業総合センター 多目的ホール

〒963-0531 郡山市日和田町高倉字下中道 116 番地 TEL 024-958-1700



■ お申込・お問合せ先 特定非営利活動法人 超学際的研究機構

〒960-8043 福島市中町8番2号 自治会館7階

TEL. (024)525-8891 FAX. (024)523-4567

E-mail info@fukushima-ondanka.org